

概 要	内 容
療養上の世話	<p>療養上の世話における熱傷が3件報告された。 (第5回報告書113頁、第8回報告書138頁、第9回報告書170頁、第10回報告書143頁、第11回報告書132頁、第12回報告書144頁)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 患者から「麻痺側を温めてほしい」と希望があり、以前にも使用経験があったのでペットボトルにお湯を入れタオルにくるんで座布団においた。患者が下肢にペットボトルをしばっていたのを見つけたため危険性を説明し、下肢から離れた。その後麻痺側大腿に低温熱傷を発見した。 2) 清拭のために患者の右大腿部付近にビニール袋に入れた清拭タオルを置き、右側臥位にした。清拭中、患者が熱いと言ったため、背部清拭後確認すると右大腿部に発赤ができていた。右側臥位にした時、患者の足にタオルが当たっていた。 3) 清拭のためタオルを4枚ビニール袋に入れて電子レンジで3分過熱した。このタオルを右足側のベッドの隅のタオルの上において清拭、更衣をした。その後、右足背、左足背の水泡を発見した。 (事例概要については本報告書99頁 図表Ⅲ-2-10 3番参照)。
医療機器	<p>MRI(磁気共鳴画像)検査での事例が報告された。 (第9回報告書169頁)</p> <p>MRI検査終了後、担当医がMRI室に酸素ボンベ付きのストレッチャーを持ち込み、酸素ボンベをMRI本体に吸着させてしまった。医師は患者の容態が気になり少しでも早く退室させ対応したかった。また、看護師が気をきかせMRI専用ストレッチャーを格納場所に戻していた。患者に影響はなかった。(図表Ⅳ-1-3)</p>
医療機器	<p>人工呼吸器の回路の接続外れや緩みに関連した事例が3件報告された。 (第12回報告書142頁)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 人工呼吸器の酸素接続部分の外れがあった。 (事例概要については本報告書91頁 図表Ⅲ-2-7 3番参照)。 2) 人工呼吸器の加湿チャンバーの給水キャップの外れがあった。 (事例概要については本報告書92頁 図表Ⅲ-2-7 8番参照)。 3) 人工呼吸器のウォータートラップのリークがあった。 (事例概要については本報告書91頁 図表Ⅲ-2-7 6番参照)。